

「円山川大規模氾濫減災対策協議会」の 構成員を中心に『堤防の共同点検』を実施！

～豊岡河川国道事務所～

平成27年9月の関東・東北豪雨を受けて、円山川における堤防決壊等の大規模な浸水被害が発生した場合に備え、国、県、市等が連携・協力して、減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に推進することにより、社会全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を再構築することを目的とした「円山川大規模氾濫減災対策協議会」の構成員を中心に、協議会規約にも記載のある堤防の共同点検を実施しました。

■開催日 平成30年7月20日(金) 10:00～12:00

■参加機関(〃は協議会構成員)

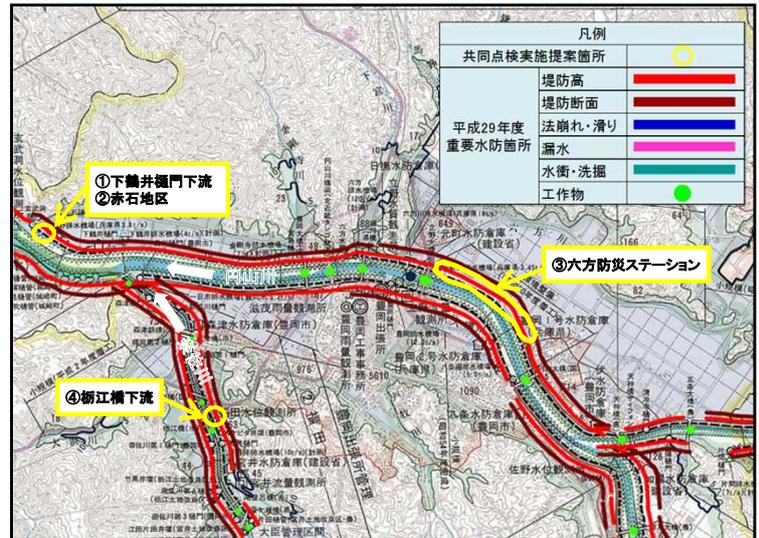
豊岡市、豊岡消防団、豊岡消防署、但馬県民局、
豊岡河川国道事務所

■共同点検箇所

- ①下鶴井樋門下流(堤防天端の傾斜)
- ②赤石地区(堤防川表亀裂発生場所)
- ③六方防災ステーション付近(堤防天端の亀甲化、堤脚水路破損)
- ④栃江橋下流(堤防川裏漏水)

■参加者からの主な意見

出水時には机上で状況判断している場合もあり、
今回関係者が集まり情報を共有できて良かった。



①下鶴井地区堤防天端(円山川右岸8.8k付近)

(H17年度～H29年度間で)沈下量大きい堤防天端の現状説明及び視察



川表法尻へ
天端が傾斜



廣谷建設専門官による説明

②赤石地区(円山川右岸7.8k付近)

(H29年度発生)堤防川表亀裂箇所の復旧状況の視察、今後の予定工事の説明



永野工務第一課長による説明



復旧状況
(堤体土入替、植生シートによる保護)

③六方防災ステーション(円山川右岸13.2k+140～14.4k)

(H17年度～H29年度間で)沈下量大きい堤防天端及び堤脚水路の損傷範囲についての説明及び視察



沈下による亀甲化



久内河川管理課長による説明

④栃江橋下流(奈佐川右岸2.4k+40m)

「平成30年7月豪雨」による堤体川裏法面漏水箇所の緊急復旧工法の説明及び視察



出水時に消防団等
により作成された
「月の輪」工法



「平成30年7月豪雨」の
痕跡を確認

【問い合わせ先】 国土交通省 近畿地方整備局 豊岡河川国道事務所 調査課
〒668-0025 兵庫県豊岡市幸町10-3 TEL 0796-22-3126(代表)

